

公益社団法人信和会 理事長 小林 充



元気ですか。テレビや新聞の報道で、「学生が大変なんだ！」というニュースを目にします。頑張りすぎずに、相談してください。

私は、今年で医師になって35年です。医師になりたての頃は、「医師にはできることがない患者さんがたくさんいるけど、看護には対象にならない人がいない」と、ちょっとうらやましく思ったりしました。今は少し違ってきました。医師には、とか、看護師には、とかじゃなく、介護士も薬剤師も歯科関係者もよってたかってチームでケアするんだという思いです。一緒に勉強しながら刺激し合って成長できる、そんなチームになれたらいいなと。

一緒にやれる日を楽しみに待っています。皆さんもできるなら楽しみながら学び成長してください。

公益社団法人信和会 看護部長 鴨川 聡子



4月に入り思うことは、一年前の新型コロナウイルス流行拡大の始まりです。昨年度は、看護学生のみなさんにとっても混乱の一年間でした。今年度は、ワクチン接種が始まり、一定の方向性が垣間見える状況になっています。しかしながら、終息を迎えるとは言えない状況でもあります。まだしばらくの間は、それぞれが感染予防に留意していくことが、自分と周りの人たちを守ることに繋がります。しかし、周囲を見渡すとさまざまな花が咲き乱れ、まちを歩いているだけでも楽しみが増える季節でもあります。新年度を迎え、一人一人がそれぞれの一步を踏み出す季節でもあります。看護学生の皆さんには、これからの一年に期待を込めて、こころ晴れやかに今年度のスタートを切っていただきたいと願っています。

京都民医連あすかい病院 看護部長 征矢 陽子



看護学校に入学した皆さん、おめでとうございます。新たな一步を踏み出しましたね。そして、在校生の皆さんもそれぞれが課題と向き合って、気持ちを新たにしていることでしょうか。病院では、COVID-19対策に慣れてきていますが、医療者として職場でも生活でも気が休まらない状況です。看護学校もそうですが、地域でもCOVID-19の影響でストレスを抱える方や生活困窮者が増加しています。また、感染者が入院できず自宅で亡くなるケースも報告されています。なんてことでしょうか！専門知識とともに、社会のあり方も「いのち・生活・人権にとってどうなのか」と考え、看護職として学び続けていきましょう。

こんな時だからこそ、「穏やかに生活できる」という当たり前のことが必要です。それを大切に感じる事ができる感性を持ち備えたいですね。

京都民医連あすかい病院 副看護部長 山際 正樹



こんにちは。今年度も看護学生担当です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新しい学期となりましたね。1年生は看護師への第一歩を踏み出し、うれしさとともに不安もあると思いますが、焦らず少しずつ確実に歩いていきましょう。また、定期面接で色々教えて下さい。

2年生はオンライン授業にも慣れ、制限された内容とは言え実習も経験しすごく充実している時期ではないでしょうか？学校で中心的な立場として、ますます学習を進めていって下さい。2年生での学習が3年生での実習に大いに役立ちますよ！

3年生はいよいよ本格的に実習が始まります。コロナはまだまだ収束しません。まずは体調を整えることを意識しましょう。看護師を目指す者として、感染対策を第一に考え、すべての実習に挑めるよう行動しましょう！

奨学生のつどいで皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

法人・病院の取り組み

東山診療所リニューアル進行中！

東山診療所は、1953年7月、東山区今熊野の地に開設されました。

今熊野地域は有名な陶磁器である清水焼の中心地であり、じん肺の患者さんが多くおられた地域です。その地域で68年間、いのちの平等をかかげ、地域住民の健康を守ってきました。

東山診療所は、当初木造2階建の民家からスタートしました。その後、1970年に新築されましたが、それから40年が経過して老朽化してきたため、今回リニューアルされることとなりました。

現在、仮診療所で診療を継続しながら、現地でリニューアル工事が進行しています。完成は2022年3月の予定です。

新しい診療所は3階建てで、2階の通所リハビリに入浴設備を設けています。また、北側と西側にバルコニーを設け、天気の良い日には日向ぼっこや歩行訓練を行う事も出来るようになる予定です。



新しい仲間が増えました！



今年も新しい仲間が入职しました。法人全体で24名となります。職種は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、事務、臨床検査技師、歯科衛生士です。

無差別・平等の医療、看護、介護を实践する仲間が増えたことは、とても心強いことです。まずは、それぞれ配属された職場に慣れる事を目標に頑張ってもらいたいです。

※あすかい病院には、12名の看護師が入职しました！！オリエンテーションを受けた後、4/5から配属部署で頑張っています(^o^)

あすかい病院 健診センターの紹介

初めまして。あすかい病院健診センター 看護師の福知美絵です。健診センターは、健診医師、医療事務スタッフ、保健師、看護師が所属しており、地域の皆様の健康づくりの為、一致団結して取り組んでいます。



健診センターの保健師、看護師は、健康診断や人間ドックなどに来られた方に対して、問診、身体測定、血圧測定、視力測定、検査・診察の介助を行うのが主な仕事です。その他に、保健指導や健康相談、健康診断の結果で医療が必要な方への受診勧奨、専門外来として禁煙外来、産業医面談（ストレスチェック）、啓発活動なども行っています。また、受診者様が安全に安心して、スムーズに採血や検査ができるように、きめ細やかな気配りといち早く異常を察知できるように、受診者様を注意深く観察しながら検査などをサポートしています。

現在、医療においては「病気にかかってから治療する」のではなく、重篤な疾患に繋がるリスクを未然に摘み取る「予防医学」の必要性が高まっています。日本人の死因の上位を占めるがん、心疾患、脳血管疾患、そして物質的な豊かさの拡大と相反して増える生活習慣病や不安障害（うつなど）、高齢化社会で増加の一途をたどる寝たきり、認知症など。医学の進歩とともに、蘇生、寛解、治癒へと導くことができる症例が増えた一方で、「もっと早く気づいていれば」「定期的な検診を受けていれば」という事例が多いのも実情です。受診者様から「早期に発見してくれてありがとう」「あの時に見つけてもらえたから、今の自分がある」「生活習慣の改善に取り組んでメタボが解消できたよ」「アドバイス、今も続けているよ」と報告を受けた時は、病気の予防に関われたことを実感でき、喜びとやりがいを感じます。

健診センターでは、受診者様の健康に関する悩みや相談に耳を傾け、受診者様が自立的に健康活動に取り組み、一人ひとりが長期的に健康に過ごせるようなサービスが提供できるように、日々奮闘しています。皆さんに少しでも健診センター、予防医学に興味を持って頂けたら嬉しいです。「予防に勝る治療はなし」「健康寿命をのばす」に着目して、年に1回の健診という短い時間を最大限に生かせるように、皆さんと一緒に健康づくりが支援できる日を楽しみにしています。

あすかい病院 キラッと看護

今回は北2階回復期リハビリテーション病棟のキラッと看護をご紹介します。
病棟では、脳血管疾患や骨折後で、急性期治療を終えた方にリハビリを行います。
在宅復帰や社会復帰を目指して、生活リハビリや日常生活訓練、体調管理、精神的援助を実践しています。

患者さんが楽しく入院生活を送れるようにレクリエーション活動にも力を入れています。

お花見や夏祭り、クリスマス会、と折々に季節を感じられるイベントをしています。1月には初詣ができるよう病棟に“回復神社”を作り、2月には、節分で看護師が鬼に扮して病室に入り、患者さんに退治してもらいました。

リハビリを頑張っておられる患者さんや、支えるご家族も楽しむことができるよう日々試行錯誤しています。



あすかい病院情報管理課の紹介

こんにちは。あすかい病院診療情報管理課です。

当課では、診療録の価値を十分発揮できるように診療情報の整備や、統計・データの抽出、診療録の開示、病歴資料の保管・管理等を行っています。

2008年に電子カルテの導入で保管資料は一気に減少しましたが、紙媒体で残るものがありスキャナ依頼や保管のため診療情報管理課に集まって来ます。外部倉庫に紙の診療録も保存しており診療時の情報収集や書類作成、診療録開示で30年前の診療録を出すこともあります。

病院名は安井病院→京都民医連第二中央病院→あすかい病院と変わりましたが地域で暮らす患者さんの病院として、診療情報は大切に預かっています。

